

Saigado
Publishing

19歳に激しい
私に

おまね
スズメ
スト
ツ
ガ
セ

成人向
For Adults

熱
おっ
Net-su-jo
おっ
女
おっ
おっ



Magado 2024.5





この子は
ひなたくん

私の
かっ子の
教えての

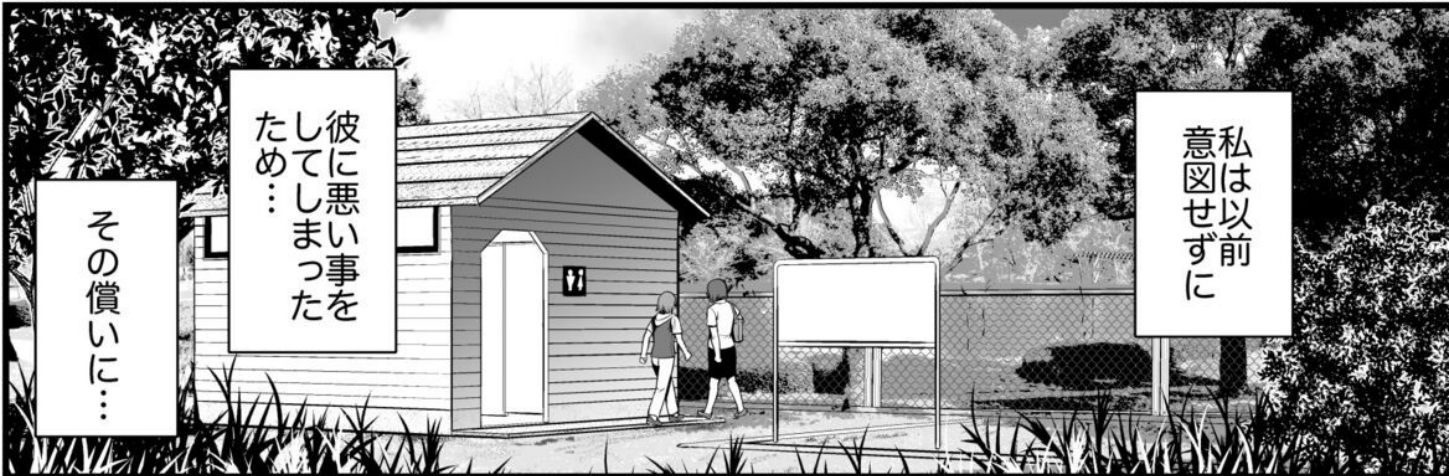


あ…
あのね…

あんまり
学校の近く
だと…

先生
困っちゃう
から…

離れて
ついて
きて…



私は以前に
意図せずに

彼に悪い事を
たててしまっ
たため…

その償いに…



じじ…
じゃ…

はい…

ひなたくん



…こなら

大丈夫…
…かな？



せん……っ
せんせ……

んんうっ……

んんっ……

んんふっ……
んんくっ……

まあだれは……

ただまたたか
二人だけま
たまたま補
気楽な習
だっただけの
日……

ひなたくんが
卒業する前
卒……

ほら出して
思い出せる

弟のように
可愛いがる
あまり……

スキップが
過剰に……

気がついて
なづかずに……

特に愛が
いたので

え？

ひなたくんは
私に顔が
そっくりな
事もあり……

そちがう
かな？





……あ！

胸を背中
に当てる
ように
続け

気がついたら
あんなに
なげつら
な……



え？

ど……どう
したの？

あっ！

……あ……



ご……
ごめん
さいね……

こんな事
に
なるなんて

お……
願……
い……
このことは
お父さんや
お母さん
には……

ううん……



ぼぼ……

せんせい
だから
すきだ

う……

うれし
かった……



それ以降……

ひなたくんは
私に
優しく
な……

事件の
目撃者
として
……



性的な関係を
持つてしまっ
ている…

教師であり
ながら自分の
元生徒と…



ふんっ…
服の上から
だけね…

せんっ…
せんっ…

キスと…

今では彼の
求めに応じ

服の上から
ペツのテイ
ンまでは許
す…



ん…?

でも…
これで…

彼が納得
たしてくれ



…あっ







おばさんの
体でしょ…

ほね…
ら…
若いひなた
くさんと違
って



ひなたは
あなたに
応えたく
ない…

理解して
くれるはず



私の体は
あくまで…

夫の日々の
性欲を満た
すため…

…そう

思ったの…

くひなたの性器は…

より強く
激しく
脈動し…

「歳の離れた異性の私に発情している事実を…」

ハッキリと突きた…

甘かった…

この子の可愛さに惑わされて

私はこの子が「性欲盛んなオス」である事を…

私は…

賭けたに…

先生の…
おっはい…
おっはい…

甘く見れないかも…



その途端…

体の力が抜けていくのを感じた…





だだ...
だだ...
だだ...

あ...

ああ...
ああ...
ああ...

わん わん わん

ひなた...

ま...
ま...
ま...

く...

わん
わん

ああ...
あんなに
普段

オスの本能に
突き動かさ
れている...

大人しい
ひなたくん
が...

ど...
ど...
どうし
ても...

する...

せ...
せ...
と...
せんせ...

う...
う...
ん...

どうしても
...
なの？

自分自身を
説得する
卑怯な私
が...

もう
避けよう
がない
こと...

これは
過去の
清算...



だけね…

…

一回…



じゃあ…

じ…



私が初めて
私に試みる
の事を…

う…
う…

あ…
あれ？
…
避妊具を手で
よつと試みる
彼の姿は…

元教え子との
セックスに
自ら同意した
のだと…

私の手で
コンドームを
装着する事で

貸して
こう



そんな
さし
が
湧き
上が
り

たか
け
る
顔
を
か
な
か
っ
た
か

あ…

夫の成熟した生殖器で

日々セックスを続けてきた

ひなたくん未熟な生殖器を

根元まで飲み込むのに

彼は…

生殖器を出し入れするまでもなく…

私の年の相応の生殖器は…

なにか支障もなかった

あっけなく

粘膜を通じて伝わる

ひなたにのびく悦

私は密かに確信を得た

射精してしまっただろうと…

あ…ああ…せんせ…

やったあ…

ああっ!

あじうーうーうー!



ああ…
うう…
ごめん
な…さ…

…出ちゃ
った？



終わったら
こうして…

あ教い
えのての



これで…
彼の私への
気持ちに…

ねら…
？

区切りが
いつい…
ばり

こうすると
から…
ぼれない

そう願
い…
ながら



彼にとつての
長年の念願が

帰り…
気をつ
け

この結
末
では…

はい…

とてもそ
うは
思えな
かつた



あ…
あのう…

来週…

また会
いた
いです…

もじ…

もじ…



この顔
で見
つめ
られ
ると

まるで私
の
弟か息
子
みたい
な

どうし
ても
突
き
放
す
事
が
で
き
な
く
て…



避けないと

彼と表で
接触する
ことは

こうなって
しまった
以上



ええ…
ええ…

来週ね…

性に目覚め
苦悩した

かつての自分を
思い出すから…

ア
ア
ア



だから
週に一度

午後イチで
終わるこの
日だけ…



堂

都会の
雑踏に
紛れ…

身分を
明かさず

二人きりで
いられる
場所へ…



…そうね…
時間ないし…

そろそろ
脱ごうか…

元教え子と
入るには

あまりに
罪深い場所

アッ
アッ
アッ
先生
あっ
あっ
あっ
あっ

あ…あの…

そこは
ラブホテル



先生は生い…

今日は一箱持ってきたから…
あとで付け方練習しようね

一度でもこんな関係を持つてしまつた以上…

ひんふ…
くんな…



はい…

もう一度してごらん



せんせ…
せんせ…

教職の習性ゆえなのか…



はあっはあっ
はあっはあっ

せんせ…
あっあ…

…気持ちいい?

先生は生い…

奇妙な感に
奇命に
追使れ

きちんとして
最後まで
遂げな
ければ…

テクニクも
何もない

性欲任せの
ピスタトン

だけど…

夢中で射精を
遂げようとす
ひなたくんが

ただもう
可愛くて…

彼の挙動と
無関係に

とめどなく
溢れてきて…

溢れる蜜壺の
快楽に耐え
られず…

私の膣内で
あつたけなく
射精した…

くひやなが
はたて…

先生の事は
気にしない
で…

ごめん
な…

ささ

ひなた君
が納得
するまで

相手して
あげるから

はあはあ
はあはあ
はあはあ

せ…先生
こう…?

今は
ただ…

かっ
かっ

ええ…
そう…

その感じ…
そう…そう

彼の想いを
遂げさせて
あげれば…

あ…あっ
気持ちいい

先生っ
気持ちいい…

きつと
また…

薄い避妊具
を通して

ひなたくんの
性器の脈動を
感じる

大人の女を
果てさせる
には…

せっせっせっ
せんせえっ
せんせえっ
せんせえっ

全く覚束ない
拙い腰つき
なのに…

せんせ…あ
せんせ…あ
せんせ…あ

ひなたくんの
熱い気持ち

んはあ...

私を導いて
いくように...

静かに...

絶頂の
迎えです...

はあ...

ああ...

結局2時間
延長して...

はあ...

コンドームも
使いたくない...
しまっ



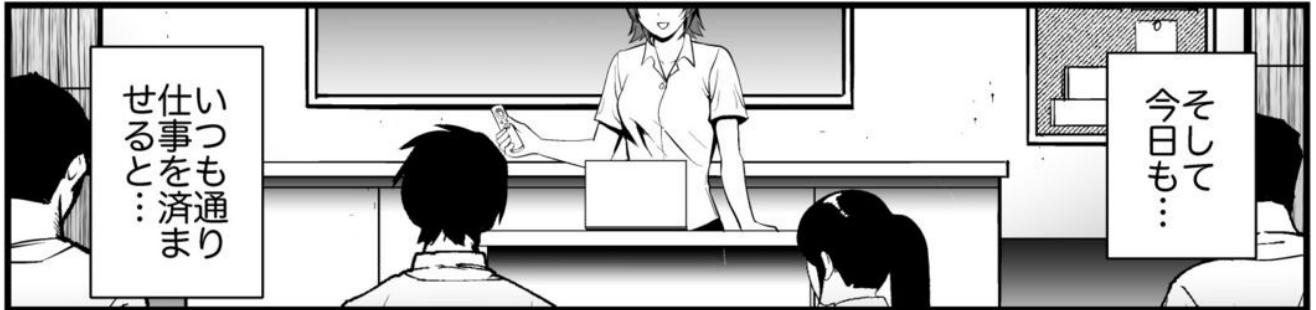
彼も落着いてくられるはず……

うん……わかってる……

いづれに私だけ飽きる……

あの……来週も……

でも……こうして……



いつも通り仕事を済ませると……

そして……今日も……



Shan Shan

シャワーを浴びながら

キスと愛撫を始める……

裸にならずに来たら……

んはっんはっ



先になんか……

ホテルに……お待たせて……

ひなた
くんはた
…

女の子の
ように
可愛いのこ

はあ
あ…

人並以上に
性欲旺盛で

それでも
性器は硬さ
を保ち…

うん…気持ち
よかったん
だよ…

前戯ですら
簡単に

射精して
しまうほど

はあ…
はあ…
出ちゃ
った…

私への欲情で
はちきれん
ばかり…

こうして
互いの気分が
盛り上がる

どちらから
ともなく
ベッドに
急ぎ…

いつも通り
コンドームを
私がつけたら

せつ先生
あつあつ
先生っ!
はああ
ダメええ
あはあ

すぐに
セックスを
始める…

ガチャ…

せつ...
うせつ...
うせつ...

こっ...
こうです
か...?

ああ...
そう...

とても世間様に
見られたくは
ない...

上手よ
ひなた
くん...

昼間から
密室に閉じ
こもり

教師が自ら
股を開き...

元教え子に
組み敷かれ...

性欲を満たそうと
夢中で貪りあう
異様な光景...

恥知らずなる
痴態を演じる
私たち...

私への
興味なんて

いつか薄れて
いくのだから

これだけは
だから...

でっ!!
出るっ!!

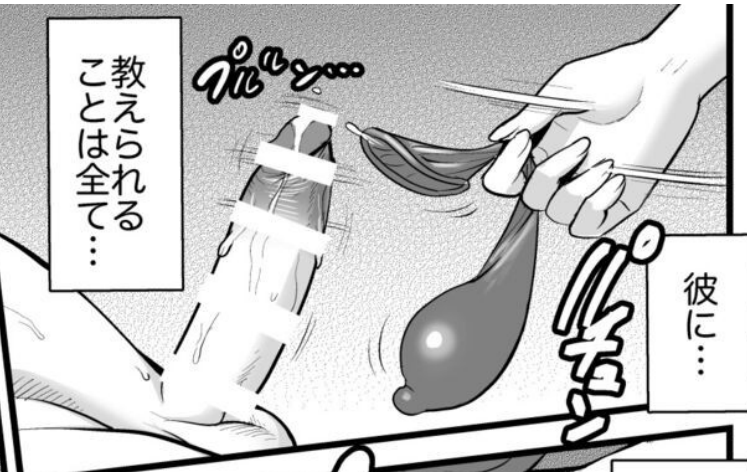
あーっ!!
うっ!!

それでも...



あ…
あ…
あ…
あ…
あ…

唇で丹念に
しごき取り…



教えられる
ことは全て…

彼に…



私が教えて
あげたい…

あ…!!
せ…
先…

19性
歳の
器に
から
む



濃厚な精液が
再び溢れる

射精して
間もな
性器から

あ…あ…
せ…先生…

また…
…ッ

若く元気な
性器を手で
マッサージ
していると

うんと
甘えさせ
ながら…

せんせ…
これ…す
すき…



ふっ…ん…
ん…う…



せ…先生に
させてね…

はい…

私への欲情で
ばかり…

はあはあ
次は…

自らの勃起で
痛みを覚える
ほどに…



ひなた
くんの
性器は…

ほんの一瞬も
硬さを失わず

きもち
い…

あ…ツ
いた



もちろん
ひなたくん
にも…

私の体を
思う存分に
貪らせるに

そうっ…
そこっ…
そうそうっ

ああ…ツ
いい子…
♡

先生っ
先生ええ



そして
興を催した…

教子の
性器で快感を
得ようと

上に乗って
夢中で腰を
振る

はっはっ
は…

せんせえ
あッあッあッ

はあはあ
あッ…あッ
すごい…ツ



だって
この子は...

はアッ
あ...はあ...

あッ!
イッ イッ
イクイクッ

せ:
せんせ:

ウッ!

私の可愛い
教え子
だから...



先生っ...

せっせんせっ
先生っ先生っ

おっ...ッ
すっすごッ

10代の
性欲は...

出した...
なばかり...
に...ッ

あッ固いッ
あッちいッ
気持ちいいッ

30半ばの
私には余りに
凄まじく



私が持参した
コンドームも

ううっ!
先生えっ!

それでも:
彼の性器は...

何一つ
衰えを
見せず...



せ:
せんせえ

もっと
したい...

もっとお...

とうとう
使っちゃ
しまった

ああ...



せ……

先生……

らわ……

あなた……

ナマで
挿れて……

早く……

なごめん……

私は……



超えさせて
しまった……

じゅじゅ……

最後の
一線を……

夢の続きを
求める余り

くひ
んは
た
は
た
…

また…

わ
か
る
…

あ
あ
…



な
く
…
動
く
間
も

射
精
し
ま
う
だ
ら
う
と
…

長年想い
続けた

唯一の異性
である私に

せ……

んせ……

はーはー

はーはー

ごめん……
なさい……

うん……

いいよ……

自分の
遺伝子を
注ぎ込んで

彼はようやく
動きを止めた

そのまま
意識を
失って

くひな
はた

最後の
一滴まで

私に放出
しようとして
いた……

短く心地よい
眠りから
目覚めると……

私とここまで
遂げたのに

決して自分の
モノにならない
彼の悔しさが…

私にも
伝わって
くる…

だから…



ううう…

すき…ッ
先生…ッ

ううう…

ひなたくんの
爪痕を…

私の顔に
残して…

個人授業は
おこまい

ちゃんとした
彼女を見つけ
てね…

でも…

「補習」が
必要になっ
たら…

その時は…
…ね？



Post script

あとがき

熱川 ねつじょ

Netsu-jo

私に激似の19歳が
セックスセガトで
困ってます

2024冬の新刊「ねつじょ」お求めいただきまして
どうもありがとうございます。

今回から新シリーズです。
「ねつじょ」がシリーズタイトルです。
「私に激似の～」は副題です。
表紙で副題が大きいのは各種の手続き時に
手間がかからないようこうなっております。
割とどうでもいい話ですみません(笑)

性欲の強い女性たちが行為に溺れる
女性視点の作品というコンセプトで様々な
パターンを描いていこうかなと思ってます。
どうぞよろしくおねがいします。

ではまた次回の作品で
お会いしましょう。

Saigado
2024.1.5

当会は海賊版の発行及び無断転載
ウェブ掲載を許可しておりません。

- ◆この本は成人指定です。
18歳未満の方の御購入及び
御購読を禁止します。
- ◆この本の内容は著者による
フィクション及び創作であり、
実在の個人、団体、屋号、作品、商品、
その他あらゆる名称とは一切関係
ありません。
- ◆無許可の中古販売、貸与禁止。
- ◆インターネット上でアクセス可能
なサーバーへの画像アップロード
共有ソフトでの交換禁止。

- 作品名 ねつじょ (作品番号AF17)
 - 制作著作 漫画制作出版サークル『彩画堂』
 - 編集発行人 彩画堂 (SAIGADO)
 - 印刷所 プリンティングイン株式会社 (PICO)
 - 発行日 2024年月05日26日初版第1刷発行
 - Twitter @saigado
 - Pixiv saigado (彩画堂)
 - E-MAIL saigado.publishing@gmail.com (スパム対策上予告無く変更あります)
- ©2024 Saigado publishing / Printed in TOKYO JAPAN



Nargado2024.5

ご両親へ
私は教師でありながら
大切な息子さんと
複数回に渡って
繰り返し性行为に及び

彼に性の快楽を教え込み
女の身体に溺れさせて
性交を繰り返した拳句に
性交を繰り返した拳句に
膣内射精に至りました
本当に申し訳ありません